

特集 超深度試錐



↑口絵1 コラ半島掘削地点全景。(本文P. 7 参照)。



↑口絵3 資料採取用ダイヤモンドビット(左)と3つのコーンをずらして坑井内に落下させ(中央) 孔底で組み合わせて掘削する(右) 特殊なビット。(ソ連 本文P. 8 参照)。

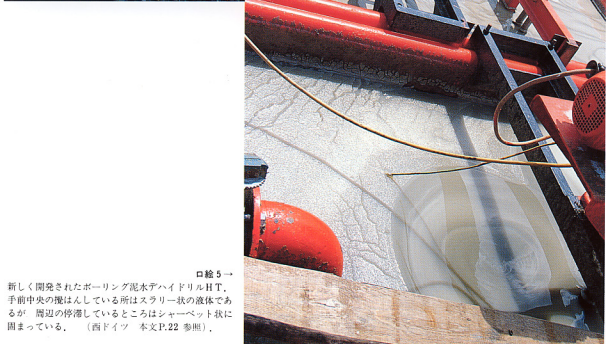
一口絵2

ソ連で開催された国際セミナー「超深層ボーリングと深部地球物理探査」で公開されたクボイログのソ連最新鋭リグ。(本文P. 8 参照)。



—口絵4

坑井のヘッドに取り付けられたガスコレクター。ここで集められたガスは直接現地研究施設に送られ分析される。（西ドイツ 本文P.22 参照）。



口絵5→

新しく開発されたボーリング泥水デハイドリルHT。手前中央の攪はんしている所はスラリー状の液体であるが 周辺の停滞しているところはシャーベット状に固まっている。（西ドイツ 本文P.22 参照）。



↑ 図6 方位のためのレフェレンスラインを付けられ保管されているコア。KTBのコアの整理は 完璧主義をもってなされている。(西ドイツ 本文P.23 参照)。



↑ 図7 手作りの装置でコアの音波速度を計っているところ。これも含め第4図(本文P.20)のワーキンググループでつくられた作られた装置がいくつかならんでいた。(西ドイツ 本文P.22 参照)。

←口絵8 スウェーデン Gravbergh 1号井
(スウェーデン 本文P. 29 参照).

